

安芸高田市学力向上戦略

安芸高田市の児童生徒に
確かな学力を身に付けさせるために

平成28年3月

(平成29年3月改定)

安芸高田市教育委員会

はじめに

アメリカの大学教授の予測によると、「今後10～20年程度で、アメリカの総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高い。」また、「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう。」とされています。この予測はアメリカに限ったことではありません。厳しく変化の激しい時代を迎えている我が国においても、将来は職業の在り方も様変わりしている可能性が高いとされています。そうした変化の中であって、これまでと同じ教育を続けているだけでは、これからの時代に通用する力を子供たちに育むことはできません。

こうした社会の情勢をふまえ、広島県教育委員会は平成26年12月、「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を策定しました。これまでの知識ベースの学びに加え、各教科で習得した知識やスキルを活用し、答えのない問題から最善解を創造する「課題発見・解決学習」や、体験を通して違いに気づき、多様性を受容する中でグローバルマインドの涵養や実践的なコミュニケーション力の向上を図る「異文化間協働活動」といった「知識を活用し、協働して新たな価値を生み出せるか」を重視した取組をすすめるとの方向性を示しました。

こうした動向を踏まえ、安芸高田市教育委員会では、新しい時代にあっても本市の児童生徒が広島県内でトップレベルの学力を身に付けることができるよう、家庭・地域・学校が連携し、取組を進めるための指針として「安芸高田市学力向上戦略」を策定しました。学校現場においては、本戦略を踏まえた学力向上の取組を組織的に進めていただきたいと思います。また、保護者・地域の皆様には、それぞれの役割を踏まえていただき、「安芸高田協育」をともに進めていただくことを願っています。そして「オール安芸高田」の精神で、第2次安芸高田市教育振興基本計画に掲げる基本理念「郷土（ふるさと）を想い 夢と志に向けて とともに学び続ける人づくり」の具現化を着実に推進していきますので、引き続き関係者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成28年3月

安芸高田市教育委員会 教育長 永井初男

もくじ

| | |
|----------------------|----|
| 第1章 学力向上戦略の策定にあたって | |
| 1 策定の背景 | 1 |
| 2 実施期間と目標指標 | 3 |
| 3 構想図 | 7 |
| 第2章 安芸高田市の現状と課題 | |
| 1 学力の現状と課題 | 8 |
| 2 学力を支える生活等の現状と課題 | 15 |
| 第3章 今後取り組む施策 | |
| 施策1 各種学力調査の活用 | 17 |
| 施策2 複数校の協働による授業づくり | 18 |
| 施策3 ICTの活用 | 20 |
| 施策4 研修の充実 | 21 |
| 第4章 授業づくり | |
| 1 安芸高田市授業づくりスローガン | 22 |
| 2 授業デザイン | 28 |
| 第5章 家庭・地域・学校の連携による協育 | |
| 1 家庭の役割 | 32 |
| 2 地域の役割 | 33 |
| 3 学校の役割 | 34 |
| 参考文献 | 35 |